橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ⑲

橘町HP　https://tachibana-net.jp　歴史・史跡もクリック

発　行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和６年１月１日
責任者：國平　安治
事務局：橘公民館　22-3884

今月号の案内者は
南片白区長　鳥越祐市さん

クイズ
●武雄の廣福寺と橘東福寺の開山はどっちが早い？

京都の東福寺と兄弟？

東福寺（南片白）

●南片白の前回は、大河ドラマの鎌倉殿の１３人にひっかけて、橘氏の由来、東福寺と橘氏との争い、東福寺遺跡の３つを一緒に紹介しんさったケン、内容がテンコモイやった。今回は的バ絞って紹介すっバイ。

●現地に行く★①には、国道４９８号と高速道が交差しとるあたりから東福寺の集落に入っていくギーよかバッテン、分いにっかケン、右に、地図と写真バ掲げるバイ。

●登りきーギ、庵と貯水槽★②があってその前に看板が立っとう。看板には、1241 年開山で円爾★③（没後、聖一国師と呼ばれることで有名）と言う人が宋★④という国から帰ってきた年だと書かれとうバイ。

●開山後★⑤すぐに院住職が亡くなり、橘氏と争った★⑥が、橘氏のものとなり、分家の中村氏の所有★⑦となったらしかネ。

●今は住職のいない小さな庵で、地区で管理しとうバイ。

★印番号の解説

★①東福寺に行くには

ぼくが案内するね。

国道４９８号線と高速道路が交差するところに旧県道が分かれる場所があるよ。
上の図の「写真①」で撮ったのが左の写真。

ここを東へ折れると東福寺集落に入るよ。
高速道の下を抜けて、②のところでは右に防火水槽があるよ。

参道入口③には左手に廃車が２台あるのが目印。
参道は石畳なので、結構立派な道だよ。

★②庵と貯水槽

右写真の手前が貯水槽。
奥に無人の庵があるよ。

★③円爾（聖一国師）

鎌倉時代中期の人。臨済宗の僧円爾(没後聖一国師)は、中国で修学後1241年に帰国し、その年に橘東福寺を開山しました。翌年武雄廣福寺も開山されています。（橘町歴史散歩パンフより）

★④宋への渡航

宋（960～1279年）は中国の国名。円爾さんは35歳の時（1235年）に修行のため平戸から宋に渡るんだ。6年の修行を終え帰国する時、一緒に船出した2艘は沈没。円爾さんの船は博多に無事に着いた。宋が滅ぶ38年前に帰国したことになるね。
（大川村村誌の聖一国師年表より）

★⑤東福寺開山と橘氏

1237　橘氏が長島庄に入部
1241　円爾帰国（博多へ）
　同年　〃　博多の承天寺開山
（同年　橘東福寺開山とされる）
1242（武雄廣福寺開山とされる）
中国で学んだことを広めるために、北部九州で布教活動を行い、帰って来た年には武雄に来たとされているんだね。
1243　円爾上洛後京都東福寺を開山

東福寺からの眺めだよ

★⑦その後

橘の東福寺は、開山後まもなく院主道覚の死去により、院主職の相続を橘氏と争い、中村氏の所有となりました。東福寺は、中村氏の衰退と共に荒れ寺となりました。（橘町歴史散歩パンフより）

★⑥橘氏はなぜ争ったの？

今日の　う・ん・ち・く

橘氏が来る前の橘平野に潮見川はありませんでした。農地は潮見山と杵島山の山裾に広がる山水を利用した場所に限られていたので、沖永・二俣・片白などの東川の西のほうには湿地帯（芦原）が広がっていました。長島庄に入部した橘公業の一族は、すでにある農地を手に入れないと経営ができませんでしたが、そこは既に、神社やお寺などの在地の管理者がいたのです。そこで、領地争いが発生しました。

橘氏は、在来の管理者と争うだけでなく、新たに農地を開拓するために、それまで東川へ流れ込んでいた川を上野の一関の場所から新たに水路を開いて「潮見川」としたのです。

【町内遺跡発掘報告書（市教委）や景観に探る中世（服部英雄）などを参考にまとめました。】

今回のご紹介した遺跡は『鎌倉時代』のものでした

注）下表の年代は諸説あ

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤書は橘町	草場・おつぼ山第1水門・南楢崎遺跡。 若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サヌカイト	市場・下貝原・釈迦寺遺跡等の遺物。市内200カ所以上。阿舎利・椿原遺跡（山内）	みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、 市内100カ所以上。東宮裾遺跡	鏡、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺前方後円墳 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・林副（墨書土器）ドウザマ墓地 立石と官道 武雄温泉 広福寺仏像向野須恵器窯跡（北方）郡衙	長嶋庄成立 橘町条里制 庄の前遺跡 経塚、蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、佐賀県最古の文書（実検状）歓喜寺薬師如来像	潮見城跡と舘跡、潮見川流域の中世遺跡、**潮見川開削、渋江・中村・中橘氏**頼朝御教書、塚崎庄が分離	北肥戦史等北部九州動乱、渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、潮見城落城-鉄砲-丹宗堀、塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が渋江攻略、肥前古窯と古武雄	三法方郷、鳴瀬宿と御狩場、長崎街道 上野本窯・皿山窯跡 南部系窯跡後藤鍋島藩の蘭書、大砲 北方炭鉱